

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 日本アイ・エス・ケイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7986 URL <http://www.king-ind.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根栄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 小林勇司 (TEL) 029-869-2001  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	2,807	5.0	222	68.6	237	55.9	156	45.3
2018年12月期第2四半期	2,675	△0.5	132	△42.6	152	△39.7	107	△38.0

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 153百万円(60.1%) 2018年12月期第2四半期 95百万円(△48.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	88.07	—
2018年12月期第2四半期	60.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	4,992	3,027	59.7
2018年12月期	4,702	2,927	61.6

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 2,979百万円 2018年12月期 2,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	30.00	30.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,270	0.1	165	2.6	200	2.4	140	1.8	78.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	1,776,000株	2018年12月期	1,776,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	1,410株	2018年12月期	1,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	1,774,590株	2018年12月期2Q	1,774,684株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益並びに雇用・所得環境の改善が継続される一方で、米中通商問題や金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な営業活動に取り組み、技術開発力の強化、経費の削減等諸施策を展開いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高28億7百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益2億37百万円（同55.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円（同45.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

鋼製品関連事業の売上高は7億3百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は63百万円（前年同期比43.2%減）となりました。耐火性だけでなく、情報保護、防盜性強化等多様化する顧客ニーズに対応するため、操作履歴機能付指紋認証キーボックス、指紋認証耐火金庫、データメディア耐火金庫等高付加価値製品の販売促進等積極的な営業展開に努めましたが、前年同期実績を下回りました。

デンタル関連事業の売上高は8億62百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は76百万円（前年同期比46.7%増）となりました。各種歯科用ユニット等の新規開発及び買替需要に対する営業活動等積極的に展開いたしました結果、前年同期実績を上回りました。

書庫ロッカー関連事業の売上高（外部顧客）は10億19百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は1億25百万円（前年同期比316.4%増）となりました。札幌工場・川島工場の生産性向上、新規顧客の開拓推進等に努めました結果、前年同期実績を上回りました。

OAフロア関連事業の売上高は64百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は4百万円（前年同期比70.2%増）となりました。

不動産賃貸関連事業の売上高は1億8百万円（前年同期と同額）、営業利益は87百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

その他の売上高は49百万円（前年同期比29.0%増）、営業利益は10百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は49億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金の減少96百万円、受取手形及び売掛金の増加3億円、電子記録債権の増加1億16百万円等により、3億4百万円増加し29億22百万円になりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、建物及び構築物の減少16百万円、機械装置及び運搬具の減少20百万円、退職給付に係る資産の増加26百万円等により、14百万円減少し20億69百万円になりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金の増加79百万円、未払法人税等の増加57百万円、その他流動負債の増加55百万円等により、1億89百万円増加し16億92百万円になりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、役員退職慰労引当金の増加2百万円等により、1百万円増加し2億72百万円になりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加1億3百万円等により、99百万円増加し30億27百万円になりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月14日公表の業績予想に変更ありません。なお、業績見通しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	929,479	832,624
受取手形及び売掛金	1,412,178	1,713,031
電子記録債権	26,646	143,001
商品及び製品	110,827	97,822
仕掛品	13,997	15,478
原材料	122,949	116,119
その他	2,548	4,680
流動資産合計	2,618,628	2,922,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	390,866	374,383
機械装置及び運搬具(純額)	194,117	173,526
土地	980,731	980,731
その他(純額)	10,032	11,649
有形固定資産合計	1,575,747	1,540,291
無形固定資産		
ソフトウェア	4,079	2,999
無形固定資産合計	4,079	2,999
投資その他の資産		
投資有価証券	144,086	140,035
退職給付に係る資産	275,610	301,992
敷金及び保証金	83,957	83,957
その他	310	310
投資その他の資産合計	503,964	526,294
固定資産合計	2,083,791	2,069,585
資産合計	4,702,420	4,992,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	938,098	1,017,808
未払金	153,111	141,207
未払法人税等	30,592	88,339
未払消費税等	46,499	53,656
賞与引当金	52,152	52,907
その他	283,154	338,989
流動負債合計	1,503,609	1,692,908
固定負債		
繰延税金負債	153,194	153,574
役員退職慰労引当金	56,900	58,953
その他	61,238	59,840
固定負債合計	271,332	272,367
負債合計	1,774,941	1,965,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,800	1,090,800
資本剰余金	64,000	64,000
利益剰余金	1,695,031	1,798,080
自己株式	△2,438	△2,438
株主資本合計	2,847,392	2,950,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,369	29,403
その他の包括利益累計額合計	34,369	29,403
非支配株主持分	45,717	47,222
純資産合計	2,927,479	3,027,067
負債純資産合計	4,702,420	4,992,344

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,675,036	2,807,680
売上原価	1,942,687	2,002,158
売上総利益	732,348	805,522
販売費及び一般管理費	600,078	582,525
営業利益	132,270	222,996
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,058	2,187
作業くず売却益	11,115	9,784
補助金収入	6,095	—
その他	943	2,846
営業外収益合計	20,213	14,819
営業外費用		
手形売却損	—	76
営業外費用合計	—	76
経常利益	152,483	237,739
税金等調整前四半期純利益	152,483	237,739
法人税、住民税及び事業税	56,525	76,625
法人税等調整額	△14,093	2,572
法人税等合計	42,431	79,197
四半期純利益	110,052	158,541
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,494	2,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,558	156,286

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	110,052	158,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,153	△4,965
その他の包括利益合計	△14,153	△4,965
四半期包括利益	95,899	153,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,405	151,321
非支配株主に係る四半期包括利益	2,494	2,254



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	OAフロア 関連事業	不動産賃貸 関連事業	計				
売上高										
1. 外部顧客への売上高	792,729	747,934	925,421	62,011	108,180	2,636,276	38,759	2,675,036	—	2,675,036
2. セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,153	—	—	5,153	—	5,153	△5,153	—
計	792,729	747,934	930,575	62,011	108,180	2,641,430	38,759	2,680,189	△5,153	2,675,036
セグメント利益	110,928	52,154	30,044	2,937	85,595	281,661	9,450	291,111	△158,841	132,270

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工具の販売等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△158,841千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	OAフロア 関連事業	不動産賃貸 関連事業	計				
売上高										
1. 外部顧客への 売上高	703,201	862,730	1,019,331	64,249	108,180	2,757,692	49,987	2,807,680	—	2,807,680
2. セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	13,902	—	1,656	15,558	—	15,558	△15,558	—
計	703,201	862,730	1,033,234	64,249	109,836	2,773,251	49,987	2,823,239	△15,558	2,807,680
セグメント利益	63,003	76,517	125,105	4,999	87,358	356,985	10,929	367,914	△144,918	222,996

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工具の販売等を行っております。  
 2 セグメント利益の調整額△144,918千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。